馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

萬福寺だより

第29号

2018年春号／no.29／平成30年3月1日発行　発行／曹洞宗 萬福寺護持会　HP http://www.manpukuji.or.jp

特集 晋山式 晋山結制・先住忌を厳かに挙行

お稚児さんと記念撮影（梶原殿）

萬福寺のご住職は歴代、緋の衣を着られる「大和尚」という位の方丈様が務められてきました。今回、萬福寺二十七世安本由道新命住職が晋山（住職就任）とともに「大和尚」になるための儀式・修行が晋山結制の諸法要であり、昨年11月23日（勤労感謝の日）、多くの関係各位のご助力を賜り、諸法要が滞りなく挙行されました。檀信徒も参列し、新命住職誕生をお祝いしました。

特集／1～5ページ

雨のため稚児行列は中止となりましたが、お集まりいただいた男の子、女の子24名は、烏帽子や金の冠をかぶり、金襴の衣装にはかまを着せてもらい、お化粧をほどこされて新命住職との記念撮影に臨みました。また、健やかな成長を願って老師さまから聖水のご加護を受け、よき思い出の一日となりました。

拄杖を手に上段する新命安本由道住職

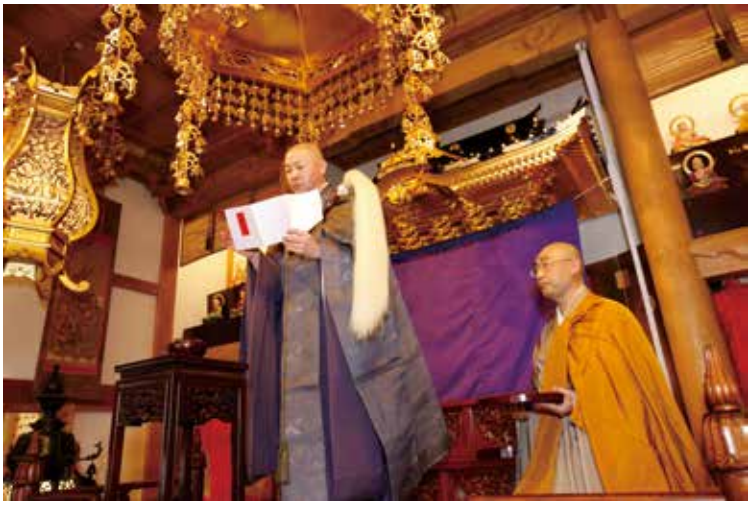
晋山式

門前で歴代二十七世として正式にお寺に入るにあたって覚悟のほどを述べ、本堂に進んで、御本尊様や歴代住職に心からの報恩感謝の意を捧げられました。

山門前で住職就任の覚悟を唱えます

晋山開堂

お寺に入った住職は、多くの人びとを導く説法を行うための場所を開き、須弥壇※上で国の平和、歴代住職への報恩感謝、檀信徒の皆様方のご先祖供養を願って法語を述べ焼香しました。


須弥壇上で法語を述べる住職

説法・問答

その場に集まる僧侶が住職に説法をお願いし、問答が開始されました。問答は、禅の修行など多岐にわたります。答えを聞いた僧侶は「吉祥、吉祥、大吉祥」と唱え謝意を述べます。問答の後、住職は改めて禅の真実の教えを示し、自分の所感を述べました。

住職に説法をお願いし問答が開始します

祝辞

その後、両本山の御専使より祝辞の伝達がありました。

永平寺御専使、
来馬宗憲老師

總持寺御専使、
福田恵文老師

曹洞宗東京都宗務所
所長、久保達夫老師

檀信徒総代、
平林延勝氏

住職の説法が大和尚にふさわしいことを証明し問答終了の合図をする白槌師役の青龍寺住職・松崎昭元大老師

※須弥壇：御本尊を安置する壇

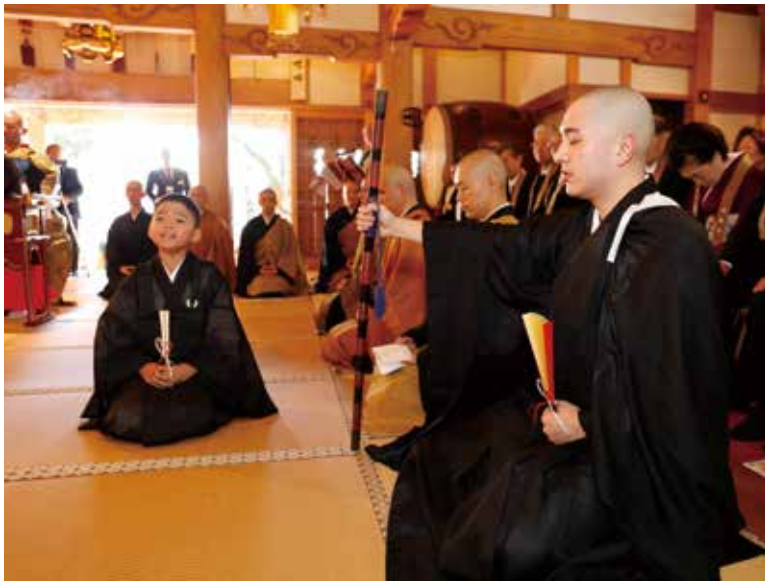
首座法戦式

しゅそほっせんしき

住職に代わり問答を交わす首座に竹篦（しっぺい）を授けます

お釈迦さまが定められた制度に従い、集まった修行僧の先頭に立つ「首座和尚（しゅそおしょう）」として東麻布・瑠璃光寺徒弟、久保恭男上座が、住職に代わり禅の修行や悟りについての問答を交わしました。この儀式は、首座にとっては一人前の宗門の僧侶となるためには必ず一度は通らなければならない関門であり、また、一寺の住職として結制安居（首座法戦式）の修行を終えた新命住職は、「大和尚」と呼ばれるようになります。

一生一度の緊張と決意で首座を勤める瑠璃光寺徒弟、久保恭男上座



問答のテーマを高らかに読み上げる辨（べん）事役の小学校3年生、賢崇寺徒弟、藤田俊雄君。お役目を終えた俊雄君は、これから小僧さんの道を歩み始めます

前日から始まった諸法要

首座入寺式、土地堂念誦、配役本則行茶

しゅそにゅうじしき　とちどうねんじゅ　はいやくほんそくぎょうちゃ

式典にあたって前日の22日、結制行事の配役を委嘱する配役本則行茶などの儀式が行われ、山門の興隆と行事の無事を祈願しました。

首座入寺式で翌日行われる法戦式の首座が任命されました

土地堂念誦では山門の興隆と行事の無事円成を願いました

配役本則行茶で結制行事の配役が委嘱されました

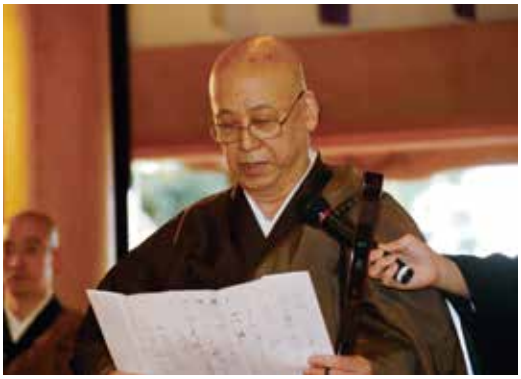
御寺院様

萬福寺役員・御来賓の方々

前住 安本利正大和尚参回忌法要

前住・二十六世太真利正大和尚の参回忌法要を、三田・常林寺住職、林秀穎老師を導師にお迎えして、執り行いました。

法要に参列する皆様


参回忌法要の御導師、常林寺住職・林秀穎老師

檀信徒総回向

大和尚となった住職が、檀信徒各家のご先祖さまにお礼の報告をし、各家の繁栄・安寧を願って総回向の法要を執り行いました。

総回向で導師を務められる住職

焼香する参列者

境内のテント内に設けられた会場で

梶原殿でモニターを見ながら参列

式典後、挨拶する萬福寺護持会会長・河原清彦氏

ご挨拶

萬福寺二十七世　新命住職
安本由道

先般の晋山式には大勢の檀信徒の皆様に迎えられ、またお寒い中ご列席いただきまして誠に有り難く厚く御礼申し上げます。今日を迎えられたのも、皆様方のご支援とご助力の賜にほかなりません。

晋山開堂の際、「お檀家さんとの対応は如何に」とご質問を受けまして、管長のお言葉にもあります「同事行」がふと浮かんできました。共に願い、共に寄り添い、共に歩む。『修証義』のお経にも、「海の水を辞せざるは同事なり、このゆえに、よく水集まりて海となるなり」と説かれています。いかなる水も拒まない海の姿が「同事」です。すべての人や物との間に垣根を作らない和合の生き方です。師匠がよく話されていた聖徳太子の「和を以って尊しとなす」も浮かんできて、須弥壇上では答える自分に言い聞かせているようでした。

代々相承してこられたみ仏の教えに精進し、日々他を思いやり共に生きる菩薩行を実践することを心がけてまいりたいと存じます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

開催行事報告

第3回するすみ祭

平成29年10月14日（土）

「ふれあい移動動物園」を開園

磨墨塚（するすみづか）を守り継承し「地域おこし」に貢献

10月14日（土）午前10時から南馬込三丁目の磨墨塚で、安本由道ご住職式師のもと子孫繁栄、町の安全を祈ってご供養が行われ、大田区長代理や地元町会の皆様にご列席いただきました。

萬福寺境内では、午前10時30分から「移動動物園」が開園し、子どもたちが家族と共に訪れ、ポニーの乗馬や、40種類以上の小動物たちとふれあいました。また、「ふるまい餅」や豚汁を販売し、チャリティとして売上金の一部を区の社会福祉に寄付しました。するすみ祭は、今年も同時期に開催される予定です。

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

開催行事報告

盂蘭盆会法要

平成29年7月13日(木)

昨年7月13日（木）、正午から新盆供養が行われました。午後1時からは高寅寺ご住職、北條和之老師による法話が行われ、午後2時から盂蘭盆会法要が執り行われました。

北條和之老師

大施餓鬼会法要

平成29年7月23日(日)

毎年恒例の大施餓鬼会法要が7月23日（日）、執り行われました。法要に先立って行われた法話では、日蓮宗・一華庵主、戸澤宗充法尼様が琵琶の弾き語りを披露されました。

戸澤宗充法尼様

秋彼岸会法要

平成29年9月23日(土・祝)

この日、境内ではご住職手作りの「きのこ汁」が振る舞われ、また「永平寺そば」がプレゼントされました。法話では、JA東京中央セレモニーセンター、丹野浩成社長の講演が行われました。

講演する丹野浩成社長

鬼子母神祈願法要

平成29年10月28日(土)

恒例の鬼子母神祈願法要が、静岡県・岸本勝吾様ご一行をお迎えして執り行われ、家門繁栄・子孫長久が祈願されました。

お札が配られました

沐浴式・御開帳

平成29年12月14日(木)

年末恒例の御本尊阿弥陀如来三尊仏の御開帳、お身拭いの儀式が、12月14日（木）午前11時から行われました。

歳末諷経 大般若会御祈祷諷経 除夜の鐘つき

平成29年12月31日(日)～平成30年1月1日(月・祝)

一年を締めくくる歳末諷経が夜の11時から、続いて新年を迎える大般若会御祈祷諷経が行われ、その後、午前1時過ぎまで参詣者による除夜の鐘つきが行われました。

「大般若経」の一部20巻を転読

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。
馬込萬福寺　検索　http://www.manpukuji.or.jp

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、ご参詣ください

3.21 春彼岸会法要

午後１時から春風亭柳朝師匠による落語、２時から法要

落語会をお楽しみいただいた後、法要が行われます。亡くなられたご先祖様に思いをはせるこの日、お墓参りにお出かけください。

4.8 花まつり

午前11時から法要

お釈迦様のお誕生日をお祝いする「花まつり」では、花御堂の中に釈尊の誕生仏を安置し、甘茶をかけてお祝いします。今年は日曜日となりました。桜の花もほころぶ季節です。ご参詣をお待ちしております。

平成30年 年回表

一周忌	平成29年	二十三回忌	平成8年	四十七回忌	昭和47年
三回忌	平成28年	二十七回忌	平成4年	五十回忌	昭和44年
七回忌	平成24年	三十三回忌	昭和61年	百回忌	大正8年
十三回忌	平成18年	三十七回忌	昭和57年		
十七回忌	平成14年	四十三回忌	昭和51年		

平成29年度　第3回やすらぎの写経会

平成30年2月11日(日・祝)

平成29年度第3回やすらぎの写経会が、平成30年2月11日（日・祝）午後1時から開催されました。写経終了後、今年度に書き上げられた「般若心経」の御写経を奉納する納経（のうきょう）諷経（ふぎん）が行われ、参列者全員で社会の平穏を祈って般若心経を唱和し、ご焼香しました。

なお、平成30年度の写経会は下記日程で開催予定です。お誘い合わせのうえご参加ください。

37名が参加して行われた納経諷経

平成30年度「萬福寺 写経会」開催日程

1回目　6月 9 日(土)　午後1時～3時
2回目　11月10日(土)　午後1時～3時
3回目　2月11日(月・祝)　午後1時～3時

御葬儀・法要の連絡は萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

昨年の11月23日、萬福寺の晋山式が行われました。そのため、『萬福寺だより』も冬の号をお休みし、今号で増ページして「晋山式特集」といたしました。当日の午前中は雨のため、皆が楽しみにしていた「稚児行列」が残念ながら中止となりましたが、今号の誌面で梶原殿での様子を掲載いたしました。

お寺にとっても我々檀信徒にとっても大変に重要な行事ですが、無事に終了し、大和尚として安本由道住職をお迎えすることが出来ました。萬福寺の新しい出発を皆で祝いたいと存じます。

もうすぐ春のお彼岸です。今年もご家族の皆様でお寺にお出かけいただくための行事を護持会でも企画しております。秋の研修旅行やするすみ祭など、これからのご案内に何卒ご期待ください。

発行／曹洞宗 萬福寺護持会　〒143-0025 東京都大田区南馬込1丁目49番1号　電話 03-3771-2025　FAX 03-3771-2140　編集責任者　城下 君子